

EU（欧州連合）に関する次の記述ア～オのうちには妥当なものが二つある。それらはどれか。

- ア. EUは1990年代、東西冷戦によるヨーロッパの経済的分断を修復するため、ドイツとロシアを中心に発足した。加盟国数の拡大が続いたが、2016年、フランスが国民投票によりEU離脱を決定した。
- イ. EUでは通貨・金融面の統合が進められている。加盟国の多くで共通通貨ユーロが流通しているほか、ユーロを用いている国々の金融政策を欧州中央銀行が一元的に決定している。
- ウ. EU加盟国間では、国境を越えたモノ、サービス、カネの移動が自由化されたが、加盟国間での人の移動の自由化については、域内での移民労働者の急増を防ぐ観点から実施されていない。
- エ. EUでは外交政策や安全保障政策についての協調は図られておらず、また、EUの機関として立法機関や行政機関は設置されていない。
- オ. 近年EUには地中海沿岸からボートで渡るなどして難民が流入を続けている。2015年、シリアなどからの難民がEU加盟国に多数流入した際、EUは加盟国が分担して難民を受け入れることを決定した。

- 1. ア, ウ
- 2. ア, エ
- 3. イ, エ
- 4. イ, オ
- 5. ウ, オ

正 答：4

気体A～Cを実験室で発生させる場合、次のような方法がある。これらの気体の性質をア～エのうちからそれぞれ正しく選んでいるのはどれか。

気体A：石灰石（炭酸カルシウム）に希塩酸を注ぎ，反応させる。

気体B：二酸化マンガンに触媒として過酸化水素を分解する。

気体C：亜鉛に希塩酸を注ぎ，反応させる。

- ア. 無色無臭で，空気より重い。水に少し溶けて，水溶液は酸性を示す。消火器などに利用される。
- イ. 無色で刺激臭を持つ。水によく溶け，水溶液は塩基性を示す。硝酸の原料などに利用される。
- ウ. 無色無臭で，水に溶けにくい。反応性が高く，多くの元素と酸化物をつくる。
- エ. 無色無臭で，同温同圧では全ての気体の中で最も密度が小さい。可燃性で爆発しやすい。ロケットや燃料電池の燃料などに利用される。

- | | A | B | C |
|----|---|---|---|
| 1. | ア | ウ | エ |
| 2. | ア | エ | ウ |
| 3. | イ | ウ | ア |
| 4. | イ | エ | ア |
| 5. | ウ | イ | エ |

正答：1

A～Fの6人はそれぞれ、北区、中央区、南区のいずれかに住んでいる。この6人について次のことが分かっているとき、正しく言えるのはどれか。

- ・ Fは北区に住んでいる。
- ・ Cは女性である。Cを除いた5人のうちに、Cと同じ区に住んでいる女性はいない。
- ・ 南区に住んでいる人数は3人である。
- ・ AとBは同じ区に住んでおり、DとEは同じ区に住んでいる。
- ・ AとDは同性であり、Bはこの2人とは性別が異なる。
- ・ 北区に住んでいる男性、中央区に住んでいる男性がいる。

1. Aは男性で、南区に住んでいる。
2. Bは女性で、中央区に住んでいる。
3. Dは男性で、中央区に住んでいる。
4. Eは男性で、北区に住んでいる。
5. 6人のうち男性は3人である。

正 答：2